

第 1 1 回  
議 会 報 告 会 報 告 書

《西根地区》

平成 29 年 1 月 16 日 (月) 開催

平成 29 年 5 月 8 日

角 田 市 議 会

## 意見・質問・要望等

①耕作放棄地対策について、昨年夏に農業委員の方と小田、豊室の耕作放棄地の現状を見て回った。耕作放棄地が非常に多くなっている。私達だけではどうにもならない。耕作放棄地の復元と、地に合った作物を、角田市、市議会、農家が知恵を出し協力して、角田市全体で考えて欲しい。【小田自治センター】

②阿武隈川の堤防から川の間にある耕作放棄地にごみを捨てていく。耕作放棄地を検討することが必要である。【南町公民館】

③産業建設常任委員会の重点要望について、耕作放棄地対策としてどのような対策を取ろうとしているのか。真剣になって考えて欲しい。【西根自治センター】

④耕作放棄地が生じる原因を多角的に捉えて政策立案することを要望する。【西根自治センター】

## 当日の回答

①様々な事情が重なって耕作放棄地になっていると思います。要望として承りました。

②私有地であるので難しい面はありますが、耕作放棄地、農業後継者問題については深刻な問題となっており、その対策について当局と検討していきます。

③当局回答だけでは不足していると感じており、それに対する考えとして議会としての方針を示しています。今後皆さんのお声を頂きながら検討していくという段階です。

④ご指摘を真摯に捉え、様々な観点から検討を重ねていきます。

## 当局・議会回答

農業者の高齢化、担い手不足、農産物の価格低迷等農業を取り巻く環境が年々厳しさを増しております。場所によっては、再生が困難と思われる農地については、非農地の判断もせざるを得ない状況もあります。

農業関連団体が連携、協力し耕作放棄地対策をすすめていきます。【農業委員会事務局】

農業従事者の高齢化や人口減少、耕作放棄地の増加などによる農村地域の問題は、本市に限らず全国的な課題となっております。今後も、議員活動の中で多くの方々と意見交換をしたり、他自治体の事例を参考にするなどして、積極的に政策提言を行ってまいります。【議会】

## 意見・質問・要望等

- ①県議会の政務活動費が問題となっているが、角田市議会の政務活動費はどうか。【藤尾自治センター】
- ②宮城県議会等で政務活動費に関連する報道がされているが、角田市議会の政務活動費について、どのように明示しているのか。議会だより等でも報告して欲しい。【高畑南公民館】
- ③議員の政務活動費の額が1議員当たり月額5,000円とのことだが、適切な活動ができるのか。【西根自治センター】
- ④全国的に注目を浴びている政務活動費について、角田市議会の現状はどうか。【枝野自治センター】

## 当日の回答

- ①議員1人当たり月5,000円です。使用目的には制限があり、使用に当たっては領収書添付の報告書を議長あて提出します。市民はその報告書を閲覧可能であり、さらに現在、インターネット上に公表する準備をしています。
- ②角田市の政務活動費は、1議員当たり月5,000円、年間で6万円まで、認められています。明示方法は、議会事務局に申請すれば閲覧することができます。今後は、インターネット上で誰でも閲覧できるように準備をしています。議会だよりでの明示も検討します。
- ③現在の報酬額の中で議員活動を行う意識を共有しつつ、有効に政務活動費を活用しております。また、透明性を確保するためにも、インターネット上で公開することも現在検討しています。
- ④角田市議会議員の政務活動費は月額5,000円です。現在インターネット上での公開も検討しており、透明性の確保に努めています。

## 当局・議会回答

政務活動費の使途について、更なる透明性の確保を求める時代の要請に応えるため、議会庁舎内に足を運び閲覧請求の手続きを踏むことなく、市民が容易に閲覧できるよう、収支報告書、領収書その他その内容を証する書類を、平成29年4月より本市ホームページなどで公開する予定です。  
また、議会だよりでの公開についても検討していきます。

**意見・質問・要望等**

総務財政常任委員会から当局へ要望された「各地区振興協議会要望事項について」に対する市長回答を見ると、何も言えなくなる。要望事項が完了しないうちに新たな要望事項が生まれている実情がある。優先順位があるのは理解しているが、次の世代に実現されても困る。【西根自治センター】

**当日の回答**

もっともな意見だと思います。市への要望は上限5,000万円との枠を撤廃して欲しいとのことでしたが、実現できませんでした。また、協働のまちづくりの見直しもすべき時期であると思います。補助事業も活用しながら各地区の要望事項を順次終了させるべきであると考えています。

**当局・議会回答**

各地区で地区振興協議会要望事業として優先順位を付けて挙げていただいた3~4つの事業については、当時、事業規模や実施計画を各地区ごとに説明しており、了解を得た上でこれまで進めてきたものと認識しております。また、西根地区につきましては、クリーンセンター寄付金事業の対象となったこともあり、概ね当初の計画通り事業が進んでおります。

各地区において、一つの事業が完了しないうちに新たな要望が出てくるといった現状は把握しておりますが、財源配分上のシーリング制で進めてきたことから考えると、予算の枠に拘らず実施することは現実的には難しいものと考えており、今後につきましては、国や県などの補助制度の活用等を模索し、可能な限り早期実現を目指していく考えです。【政策企画課】

## 意見・質問・要望等

- ①振興協議会から市への要望について、予算が多額の要望は時間を要し、少額の要望は実現している。均衡ある角田市の発展との観点から総合的な検証をすべきではないか。また協働のまちづくりそのものを見直しすべきであり、その姿勢を見せる必要がある。【西根自治センター】
- ②振興協議会から出された要望事項の進捗状況確認は誰が行っているのか。協働のまちづくりが一人歩きしており、中身が伴っていない。今後の新たな10年を見据え、行政が確たる方針を示して欲しい。【西根自治センター】
- ③協働のまちづくりが10年を迎えるが、これで良いのか。仕組みそのものを見直しすべきではないのか。市民がこの方式を必要としているのか。事業計画を作るというが、優先順位を決めるのは不可能である。協働のまちづくりと組織の見直しを要望する。【北郷自治センター】
- ④協働のまちづくりがスタートして約10年が経過している。振興協議会への各団体の長、議員等の参画など、今後の振興協議会のあり方について検討して欲しい。【枝野自治センター】
- ⑤市内中心部を囲む周辺地域が今後コミュニティを維持できるのか。また、各地区の振興協議会はどのようにしようとしているのか。協働のまちづくりとは別に考えがあっても良いと思う。【豊室公民館】

## 当日の回答

- ①ご指摘の通りです。議会としても検証を進めていきたいと考えています。
- ②基本的に要望事項の進捗確認は議会が行っています。進捗が遅く、実現まで相当の期間を要している現実があります。また、協働のまちづくりについては、前市長の時代より開始されましたが、ご指摘の通り見直しの時期を迎えていると感じられます。
- ③意見として持ち帰り、検討させていただきます。
- ④要望として承ります。
- ⑤貴重なご意見として承ります。協働のまちづくりにおいては、不公平感を産みだしている現状もあり、今後見直しが必要であると考えています。

## 当局・議会回答

地区振興協議会要望事業につきましては、当初からの事業規模の違いや実施後の事業内容の変更等により、各地区の進捗状況に差が出ていることは承知しております。今後の対策として、進捗に遅れの出ている地区に重点的に予算配分を行うなど、地域間のバランスを保ちながら進めていく考えです。

また、本市の協働のまちづくりは、平成18年度からスタートし、10年を経過するまでに至っており、これまで各地区振興協議会の設立、地区計画の策定をはじめ、地区公民館を自治センターへ再編し、地域づくりの拠点施設とするなど、推進体制を整えてきました。

この間、各地区振興協議会においては、それぞれの地域で抱える課題に対し、その解決に向けた様々な取り組みが活発に行われてきており、一定の成果があったものと認識しております。

地域の抱える課題が今後益々多様化していくことが想定される中、「協働」によるまちづくりの必要性はより高まっていくものと考えております。そうした中で「協働」の基本的な考え方や理念は変わるものではありませんので、今後も協働のまちづくり推進の基本的な方向性については、これまで同様としていく考えです。その上で、これまでの推進体制づくりの改善点を実情に応じて見定め、市民の方々との話し合いを十分に重ねた上で、今後のまちづくりをより良いものに改めていきます。【政策企画課】

## 意見・質問・要望等

振興協議会の要望にしても、市長からのりくらりとかわさされている印象がある。道の駅のコンセプトも同様で、今後の市が目指すものが見えてこない。将来的な人口、税収等に基づいた角田が進むべき道を市長が示さないのであれば、議会として示すべきではないか。市長へ強く訴えて欲しい。【西根自治センター】

## 当日の回答

議会は会派制を取っているため、統一した意見を取りまとめるには時間を要しますが、皆様と想いは同じであることをご理解ください。

## 当局・議会回答

平成28年1月に角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、本市における人口の将来展望を踏まえ、人口減少を克服し、活力ある角田市を今後も維持するため、平成27年度を初年度とする今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめ、鋭意、事業推進を図っております。

また、広報かくだや市のホームページからも情報発信しておりますが、引き続き、まちづくり懇談会等を通じて説明に努めていきます。【政策企画課】

## 議員に関すること

## 意見・質問・要望等

議員も市役所職員も現場に足を運んで地域の実情を見て欲しい。【西根自治センター】

## 当日の回答

ご指摘の通り、足りない部分があるとすれば今後更に努めていきます。

## 当局・議会回答

当日の回答のとおり、地域課題の把握に努めていきます。

## 職員に関すること

## 意見・質問・要望等

自治センター職員の待遇は市役所内に勤務する他職員と違うのか。同じ職員であれば、同じ待遇であるべき。【西根自治センター】

## 当日の回答

自治センター職員は主事です。職員と一言で言っても様々な職種があり、様々な条件の下で募集と採用が行われております。

## 当局・議会回答

当日の回答のとおり、自治センター職員をはじめ市の各行政組織毎に非常勤職員等を配置し業務を行っております。非常勤職員は、それぞれの職務内容に応じた報酬体系としており、また、採用に当たっては職務内容や待遇条件等を予め提示したうえでお願いしております。【総務課】

## 議会報告会に関すること

## 意見・質問・要望等

継続調査事項とは何か。防災倉庫等の設置など、必要性が高く、具体性を持った調査事項の設定をすべきではないか。【西根自治センター】

## 当日の回答

将来に向けて引き続き検討していくものであるとご理解ください。

## 当局・議会回答

当日の回答のとおりです。今後も、市民にとって、緊急性や重要性が高い事項については、集中的、優先的に調査・検討していきます。

## 意見・質問・要望等

若年層が都会へ移ってしまうため、田園の美しい環境が維持されているのは60代以上の方の努力があるからだ。今後10年維持できるかどうかの瀬戸際だ。景観を守る営農活動が実現できるよう提言をして欲しい。【西根自治センター】

## 当日の回答

ご指摘の通りです。更に良い街づくりのために、具体的なアイデアがあればご提案頂ければ有難いです。

## 当局・議会回答

農地の維持保全などのための中山間地域直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業については、今後も維持されるものと思われませんが事業存続のため要望していきます。【農政課】

## 意見・質問・要望等

いかに企業誘致して就労人口を増やしても角田に住もうという人はいない。買い物をするにも他市町の方が便利だからだ。特に国道113号を核とした東西交通の利便性向上など、将来ビジョンを示すべきなのではないか。【西根自治センター】

## 当日の回答

非常に重要なご指摘です。国道113号については、宮城県市議会議長会でも検討課題となっており今後推進したいと考えています。

## 当局・議会回答

当日の回答のとおりです。【政策企画課】

## 意見・質問・要望等

最近コンビニに行くごとみ箱が店内にあり容易にごみが捨てられない。ごみの散乱原因と思えるが対応できないものか。【西根自治センター】

## 当日の回答

ごみのポイ捨て、不法投棄防止を目指した議員提案の条例化を進めたいと考えています。

## 当局・議会回答

コンビニに限らずスーパーや駅など外に設置してあるごみ箱に、家庭ごみを持参し捨てていくマナー違反の方が増えています。自らが出したごみは自宅に「持ち帰り」、「分別」して「ごみ集積所へ出す」ようにしてください。  
なお、コンビニを利用された方であれば、コンビニ内のごみ箱を利用できるはずです。【生活環境課】

## 意見・質問・要望等

仙南クリーンセンターで行われた放射性物質汚染廃棄物の試験焼却についての説明会に出席したが、バグフィルターで放射性物質を99.9%取り除くことができるとの環境省の説明には懐疑的だ。不安の声が多く出たと思うが、市長は「理解を得られた」として試験焼却に何故賛成したのか疑問だ。【西根自治センター】

## 当日の回答

様々な検証が必要な問題だと思います。疑問の声があることを当局に伝えます。

## 当局・議会回答

放射性物質汚染廃棄物を試験焼却する場合の安全性の確保として、バグフィルターの性能や実証データの開示等、十分説明できるように国や県に要請していきます。  
仙南クリーンセンターは仙南地域広域行政事務組合の施設でありますので、試験焼却を受け入れることについては、構成市町の首長が集まり、仙南2市7町の意見を集約して決定しました。【生活環境課】

## 意見・質問・要望等

市議会だよりに子どもの学力向上について一般質問している記事が掲載されていたが、答弁は納得できるものではなかった。成果を上げている他自治体を見習うべきではないのか。特色ある教育で角田のアピールポイントをつくるべきではないか。【西根自治センター】

## 当日の回答

他先進地の事例、そしてその後の経過等も踏まえての答弁であったと認識しています。今後も角田ならではの教育環境整備を提案していきたいと考えています。

## 当局・議会回答

学力向上については、「家庭学習の手引き」を独自発行するなど力を入れており、毎年少しずつではありますが向上しております。今後の特色ある教育としてはJAXAと連携し「宇宙教育」を推進します。このことは「好奇心」から課題をとらえ「探究心」を持って問題解決を図る子どもの育成を目指すものです。【教育総務課】

## 議会等への要望等に関すること

## 意見・質問・要望等

放射性物質汚染廃棄物の試験焼却について、環境省の説明は納得いくものではなかった。議員も参加していたようだが、発言はなかった。議員の意見を聞きたい。【西根自治センター】

## 当日の回答

市民の皆さんの不安を環境省の説明が拭い去るとは到底できると思えません。また試験焼却が延期されたことにより再度の説明をすべきであろうと考えています。

## 当局・議会回答

農家の庭先等で保管されている汚染稲わら等について、庭先にそのまま保管してよいのか。放射能汚染廃棄物を1ヵ所に集約し保管するにしても、その保管場所となった周辺住民の理解を得られるのか。基準値以下のものについて仙南クリーンセンターで焼却し、減量化したほうがいいのか等、様々な意見があります。  
環境省、宮城県及び仙南2市7町が足並みを揃え、住民の理解を得ながら、今後、どのように放射性物質汚染廃棄物処理をしていくか、議会としても注視・議論していきます。

## 放射能に関すること

## 意見・質問・要望等

放射性物質汚染廃棄物の試験焼却について、地元住民への説明会を実施する前に、県への回答書を市長が県に対して提出していたことは理解に苦しむ。【西根自治センター】

## 当日の回答

同じ想いです。

## 当局・議会回答

住民説明会については、平成28年12月19日「宮城県が示した8,000Bq/kg以下の放射性物質汚染廃棄物に関する処理方針案の説明会」として仙南クリーンセンターで開催しました。  
仙南クリーンセンターは仙南地域広域行政事務組合の施設でありますので、試験焼却を受け入れるかどうかについては、平成28年12月26日に構成市町の首長が集まり、仙南2市7町の意見を集約して決定し、平成28年12月27日の「第12回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議」において、仙南地域広域行政事務組合の理事長が代表して、放射性物質汚染廃棄物の試験焼却を受け入れることを述べました。  
なお、住民説明会の前も後も、市長が県に対して回答書を提出しておりません。【生活環境課】



**意見・質問・要望等**

放射性物質汚染廃棄物の試験焼却について、混焼に賛成するものではないが、保管している物をどのようにしていくのかを検討してもらいたい。保管状態が悲惨な状態だ。【西根自治センター】

**当日の回答**

乾燥後、圧縮して隔離保管するなどの方策も今後考えられると思われます。保管状況の改善について検討していきます。

**当局・議会回答**

8,000Bq/kg以下の放射性物質汚染廃棄物については、今後開催される「宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議」で、方針が示される予定であります。

農林業系廃棄物の保管でご心配なことがあれば農政課へご相談ください。【生活環境課・農政課】